

雪おろしのポイント



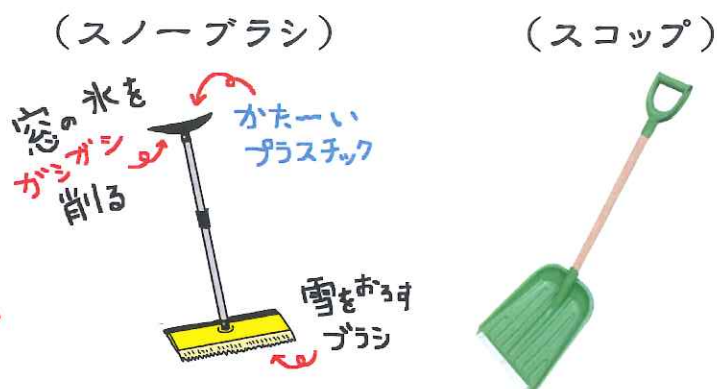
ここ乳頭温泉郷は県内でも特に雪が降り積もる場所です。
翌朝には、大切な車に雪が積もっている！なんてことはよくある光景。
いざ雪おろしをしようと思っても、正しい雪おろしを知らなければ、
ご出発にお時間がかかってしまう場合がございます。
では、どのようにすれば効率よく雪おろしできるのか、そのコツをお伝えしたいと
思います。

雪おろしに必要な道具

1.スノーブラシ

2.スコップ

※どちらも貸出の物がございますので、
お役立てください。



雪おろしの手順

★前や後ろではなく、横に雪を落とすのが基本となります。

1.出発の約20～30分前にエンジンをかけて車を温めます

その際、エアコン操作はデフロスター（曇りとり）に→→→
ガラス、ボンネットの雪おろしがしやすくなります。



**⚠ エンジンをかける前にマフラーに雪が詰まっていないか確認を！
詰まりの原因による車内での一酸化炭素中毒の可能性があり危険です。**

2.ルーフ（屋根）

しっかり落とすようにしましょう。

中途半端に残してしまうと、走行中に雪が溶けたり振動でズレたりして
フロントガラスに落ち、視界が塞がれてしまうからです。

3.フロントガラス、ボンネット、フロント

車種によってはヘッドライト付近に雪がたまりやすいので、

ボンネットの雪はフロント方面に落とさないようにしましょう。

フロント部分はヘッドライトやウインカーに雪がかかっているか確認を。

4.サイド・リア

サイドミラーについての雪もしっかり落としておきましょう。

テールライト、ウインカー等に雪がかかっているかもしっかり確認を。

1～4まで出来ればいよいよ出発ですが、
雪道での運転では、スピードや車間距離に十分な注意を払い
普段以上に安全運転を心がけていただければと存じます。

それでは、お気をつけて
いってらっしゃいませ！